

令和5年度八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和5年8月18日(金) 午後2時00分から午後3時30分まで	開催場所	八潮メセナ 3階 会議室1、2
出席者 (敬称略)	(1号委員)右川 清夫、大野 ヒロ子、織田 隆志、鈴木 孝一、平本 なるみ、古庄 正登 (2号委員)吉川 久、山田 洋 (3号委員)中元 里織、秋元 理香		
欠席者 (敬称略)	なし	傍聴者数	0人
内容	<p>令和5年度第1回八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会</p> <p>1 開会</p> <p>2 委員自己紹介</p> <p>3 会長の選出及び会長の職務を代理する委員の指定</p> <p>4 議事</p> <p>(1)第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(令和4年度実施事業)の効果検証 について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>		
提供資料	<p>令和5年度第1回八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会次第</p> <p>資料1 第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略～令和4年度事業評価～</p> <p>参考資料1 基本目標ごとの各指標達成状況(令和4年度分)</p> <p>参考資料2 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>参考資料3 調書の見方について</p> <p>参考資料4 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会規則</p> <p>参考資料5 八潮市附属機関の会議の公開に関する規則</p> <p>参考資料6 八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会委員名簿</p>		

【議事詳細】

令和5年度第1回八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会

1. 開会

2. 委員自己紹介

委員が自己紹介を行った。

3. 会長の選出及び会長の職務を代理する委員の指定

委員の互選により、山田委員を会長に選出した。

会長の指定により、平本委員を会長の職務を代理する委員に指定した。

4. 議事

(1) 第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業（令和4年度実施事業）の効果検証について

第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要、事業評価シートの見方、第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略～令和4年度事業評価～について事務局から説明した。

○基本目標1

・事務局

事業の進捗状況について説明した。

・委員

それぞれの事業評価で「活動の実施状況の評価」と「K P I 達成度」の評価がされているが、この2つの評価の関係はどのようになっているのか。

→事務局

「活動の実施状況の評価」は、K P I を達成するために、その年度にどれだけ活動ができたかということの評価しており、それに対し「K P I 達成度」の評価は、事業ごとに計画の目標値が定められており、その目標値に対して、どれだけ成果を上げることができたかを、それぞれA B Cで評価をしている。

K P I の評価にかかわらず、活動ができていれば「活動の実施状況の評価」が高くなるため、必ずしも評価が同じになるとは限らない。

・委員

K P I で目標値が「0」の場合において、達成度も「0」といった場合に、おおむね達成できたという評価は妥当か。

→事務局

目標値が「0」となっている指標については、短期的にすぐに達成できる目標ではないことが理由として挙げられる。その場合には、計画の最終年度の目標に対して、どの程度の取組みができたかという視点で、KPI 達成度についても評価をしている。

・委員

実施状況としては理解できるが、KPI の達成度の評価であり、それぞれ取組みに対して評価が変わるという話ではないと思われる。

→事務局

目標値として「0」としており、実績が「0」となった場合でも、達成できなかったということではない。評価については様々な意見があると思うが、最終的な計画目標に対する取組み、KPI の進捗状況というような視点で評価をしている。

・委員

有効求人倍率について、職業安定所へ最近の情勢について話を伺った。八潮市は東京のベッドタウンという土地柄もあり、6割近くが県外就職を希望しており、4割が県内の就職希望であるという全般的な八潮市の情勢を伺った。有効求人倍率は、6月で、埼玉県全体では1.20、草加地区は1.13で推移しているとのことで、資料には令和4年度の1.95という実績しか記載されていないが、記載された実績で推移をしているという報告を受けているため、参考として報告させていただく。

・委員

事業承継セミナーについて、「事業承継」に対する悩みを持つ事業者が増えてきていると思われる。事業承継セミナーを実施して、様々な方法があるということで、知識を得ていただいた後、例えば金融機関との連携や、士業の方との連携といった取組みは実施しているのか。

→事務局

事業承継セミナーについては、例えば令和5年度では、八潮市商工会と連携し、9月に事業承継士、中小企業診断士の方による講座を、30人定員で実施する予定と伺っている。セミナー実施後の金融機関との連携等については、担当課から伺った情報が手元にないため、後ほど回答させていただく。

→回答

令和3年度から八潮市商工会と連携して当該セミナーを実施している。市内金融機関との連携を図ることを目的に、令和5年度の実施については、市内金融機関にセミナーへの参加を打診している。参加があった場合には、当該金融機関との連携も含めた事業の展開について検討していきたい。

・委員

事業承継のKPIの目標がゼロというのは、事業承継な企業がないということか。数年かかる話であれば目標が0というのも理解できるが、事業承継が0ということはあり得るのか。

→事務局

事業承継事業所数については、市と商工会とで連携し、事業承継セミナーを行うことによって、事業承継に繋がる事例を令和7年度に1件を目標としているところである。

→回答

事業承継については、令和3年度からセミナーを実施している。事業承継はすぐに結果が表れるものではなく、始めてからある程度の期間（10年程度とも言われている。）が必要となる。なるべく早い時期に、当セミナーを受講された方から事業承継事業所がでてくるのが望ましいが、現実的な目標設定とすることから「0」という設定にしている。

○基本目標2

・事務局

事業の進捗状況について説明した。

・委員

ホームページの閲覧数について、既に令和7年度の目標をはるかに上回っているが、目標を修正することはあるか。

→事務局

令和4年度については、目標の計画値を大幅に上回る実績となったが、新型コロナウイルスの影響によるものが大きいと考えている。当初の目標設定時には想定していなかったため、最終年度の令和7年度に目標の閲覧数を上回るよう取り組んでいく。

参考として、ホームページの閲覧数で多いのが、ゴミの出し方、コロナの予防接種、季節的なものとして、台風のときは閲覧数が一時的にかなり増える状況がある。

・委員

8ページの「八潮市に「住み続けたい人」の割合（20から40代）」の現状値が令和元年度69.9%、令和4年度の実績が67.6%となっており、住み続けたいと思っている方が多く、八潮市は住みやすさナンバー1のまちに近づいているかと思っていたが、一方で、12ページの「子育て環境」の満足度（20から40代）では、令和4年度の実績が、住み続けたい人の割合の67.6%からかけ離れた14.0%となっている。この乖離については、どのように考えているのか。

→事務局

数値については、定期的実施している「市民意識調査」の結果を記載している。「市民意識調査」は、無作為で3000人を抽出し、郵送で質問表をお送りし、郵送またはインターネットで回答をいただいている。その中で、住み続けたいかという質問については、「ずっと住み続けたい」、「当分の間は住み続けたい」と、多くの方に回答をいただいている。

子育て環境の満足度についても、同じ市民意識調査の中での調査項目となっており、市政の運営の中で、学校教育の充実や、子育て環境の充実、防災・減災対策の強化、道路の整備、交通安全対策の推進等、様々な項目を選択肢として、満足度をつけていただいている。その中で、子育て環境の充実に関しては、不満と回答していただいた方が26.6%、満足と回答していただいた方が13.0%となっており、先ほどの住み続けたいとの因果関係はわかりかねるところがあるが、全体として住み続けたいという質問に対しては、住み続けたい、もしくはしばらく住み続けたいというふうに回答していただいた方が多かったのに対し、個別の施策の満足度の項目として出てきた結果としては、子育てに関しては充実してほしいという意見が多かったという結果となっている。

・委員

大人にとっては住みやすいが、子供にとっては住みにくいという結果だと思われる。このような状況が長年続いていると思われるため、声に出せない子供たちが住みやすい環境を市として考えていくべきだと思う。このことを施策に反映していくことで、子育て環境の満足度も良くなると思われるため、検討をしていただきたい。

→事務局

市民意識調査の中でも特に力を入れてほしい施策という質問があり、一番多かったのが、医療体制制度の充実、2番目に多かったのが、道路の整備、そして3番目に多かったのが、子育て環境の充実、次に学校教育の充実となっているため、いただいた意見を基に、取組みを進めていきたい。

○基本目標3

・事務局

事業の進捗状況について説明した。

・委員

以前は、基本目標の中にコミュニティセンターのような、子どもからお年寄りまで幅広く、みんなが集まれる居場所作りといった項目があったと思われるが、今回はそのような施策が一切出ていないため、何か別の事業に代わったのか。だいたい児童館のような施設が八潮市には足りないということで、そういう話をずっとしてきたつもりだった。小学生や中学生ぐらいの子供たちが遊ぶ・集える場、放課後集える場が八潮市にはなく、子供たちの行き場がないと感じる。予算の都合もあり、なかなか難しいという話は聞いてはいたが、諦めたということか。

→事務局

確認し、後ほど回答させていただく。

→回答

該当の事業については、第1期の総合戦略において、「コミュニティ施設整備事業」のKPIとして「交流サロン活用可能箇所数」を設定していた。同事業については、第2期の総合戦略においても、基本目標2において、KPIを変更し、位置付けている。

第2期戦略においては、「交流サロン活用可能箇所」をKPIとしては設定していないが、第5次総合計画において、世代を超えた地域住民の交流を通じて地域コミュニティの活性化を図るため、多様な機能をもつ施設の整備の検討を進めることとしており、実施を取りやめたということではなく、別の計画として進めていくこととなる。

・委員

事業番号7や8については、なかなか難しいと思われる。そもそもこの内容をKPIとして設定するが適切なのかどうかという議論はあるかと思う。なかなか達成できないという評価も適切なのか。

・委員

事業番号8、20ページのKPIが達成できなかったということだが、そもそもの目標設定が高すぎるように感じる。私の聞いた話では県の水準には、概ね達している学校もあり、達していない学校もあると聞いている。目標設定が高すぎるため、達成できなかったという評価だけではなく、年々実績が上がっているという評価もよいのではないかと思う。

○基本目標 4

- ・事務局

事業の進捗状況について説明した。

- ・委員

23 ページ、防犯施設整備事業について、市内の防犯カメラ数は把握しているか。設置場所は駅前が多いのか。

→事務局

市内の防犯カメラについては 102 台である。各小・中学校周辺や、駅周辺に設置をしている。

- ・委員

市が設置しているのがという理解でよいか。商店街等の個別で設置されているのはまた別にあるという理解でよいか。

→事務局

そのとおり。

- ・委員

全防犯灯数について、3,515 基となっているが、この数については市で設置したものと、町会で設置したものの合計ということによいか。

→事務局

防犯灯数については、町会自治会で設置していただいている数値となっている。それに対し、市では設置費や修繕費の補助をしているため、市で設置しているものについては含まれていない。

- ・委員

24 ページ、交通安全指導・教育事業において、交通指導員の記載があるが、公募制を導入したことにより、年会費が必要になるというのが条件になってしまったという話を聞いた。交通指導員になってもよいが、そういった会に入ることは、会議に出席しなければならないため、仕事の隙間時間で検討している方は、交通指導員になりにくいと思われる。周知も大切だと思うが、周知だけではなく、内容の見直しを含め、検討していただきたい。

→事務局

確認の上、回答させていただく。

→回答

八潮市交通指導員になるにあたり、年会費が必要となることはない。ただし、八潮市交通指導員連絡協議会の会員になるには、当該協議会に月額 250 円の会費を納める必要があるが、入会は任意である。実際に、最近交通指導員になられた方で、協議会に入会していない方もいる。交通指導員の報償は、1 回あたり 1,600 円であり、報償以上に負担をいただくものではない。協議会会員としての会議や研修会などはあるが、交通指導員としての会議や研修会はない。なお、協議会が開催する研修会は、警察署員を招いての動画研修や日ごろの立哨についての質疑応答を行っていることから、定期的な開催は必要なものと考えている。

5. その他

- ・ 審議会の公開と議事録の公表について、委員から了承をいただいた。
- ・ 次回の審議会開催について報告した。

6. 閉会

以上